

1 研修のテーマ

「グループ制の指導について」

2 研修の方法

- ・男子3グループ、女子1グループとし、複数担当での対応と指導。
- ・各グループのコンセプト等に沿って、主体的に取り組むことができる場の設定。

3 研修の様子

男子棟

- ・視覚支援、個別指導・グループワークの3グループ。

女子棟

- ・1階は比較的静かな環境を好む生徒、2階は生徒自身で日課を組み立て課題解決していく生徒で一つのグループを基本とした舎室編成とした。

寄宿舍全体

- ・棟単位やグループ単位でルールを検討し、職員と協議しながらより過ごしやすい場を作っていくことを検討していく。
- ・舎友会執行部や各行事実行委員の活動をとおして、生徒が主体的に取り組む場面を設定。

4 成果と課題

成果～・多数の意見を生徒に伝えることができた。

- ・生徒からの相談や、指導内容に応じて適材適所、役割分担で対応することができた。
- ・室担制のときは生徒との関係づくりや対応に時間を要することがあったが、グループ制で複数の職員が担当になったことで、生徒自身が関わりたい職員や相談する内容によって相談相手を選べるようになり、スムーズに対応ができた。
- ・生徒指導を行う中で、室担のときは室担の意見を優先して進めていたが、複数の職員で指導の方向性を合わせたうえで、多様な考えがあることを教えることができた。
- ・昨年度から、複数の舎室で指導グループを形成する体制で指導に当たっていたことから、違和感なくスムーズにグループ制指導に移行できた。

課題～・室担制の時は担当舎室（4～8人）を把握していれば良かったが、人数が増えたことで生徒の情報を失念してしまうことがあった。

- ・男子棟では、帰省日に担当職員が不在になることがあったため、生徒や保護者の対応が難しいことがあった。